

45 農林水産省共通申請サービス（eMAFF）等による行政手続の抜本的効率化

【令和4年度予算概算決定額（デジタル庁計上） 4,491（3,894）百万円】

- <対策のポイント>
- 農林漁業者の高齢化や労働力不足等の課題がある中で、担い手が経営に集中できる環境を整備するため、農林水産省が所管する全ての行政手続業務の抜本的な見直しを進めながら、行政手続のオンライン化を図り、農林漁業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進します。
- <政策目標>
- 農林水産省が所管する全ての法令に基づく手続及び補助金・交付金の申請手続のオンライン化率（100%〔令和4年度まで〕）

○ 上記手続のオンライン利用率（60%〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

1. 農林水産省共通申請サービス（eMAFF）による行政手続のオンライン化の着実な推進

3,678（3,677）百万円

農林水産省が所管する全ての行政手続の申請に係る書類や申請項目等の抜本的な見直しを進めながら、農林漁業者等が自分のスマホやタブレット、パソコンから補助金等の申請が行えるようにするための「農林水産省共通申請サービス」（通称：eMAFF）による行政手続のオンライン化を着実に推進します。



農林水産省所管の補助金
申請における添付書類一式の例

2. 農林水産省地理情報共通管理システム（eMAFF地図）の開発

813（217）百万円

eMAFFの利用を進めながら、デジタル地図を活用して、農地台帳、水田台帳等の現場の農地情報を統合し、農地の利用状況の現地確認等の抜本的な効率化・省力化などを図るための「農林水産省地理情報共通管理システム」（通称：eMAFF地図）の開発を進めます。

※ 本事業は、直轄で実施

<事業イメージ>

